

北方建築総合研究所 NEWS LETTER

北方かわらばん

Mail Magazine VOL.30 2012/02/08

「北方かわらばん」は、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所（旧・北海道立北方建築総合研究所）が発行しているメールマガジンです。

ホームページ等で配信登録された方にお送りしています。

アドレスを登録した覚えのない方、登録内容の変更、配信停止は【管理者からのお知らせ】をご覧ください。このメールアドレスは配信専用のため、返信できませんのでご了承ください。

※MSゴシックなどの等幅フォントでご覧ください。

=====
今月号のトピックス
=====

第30号の内容はこちらです。

■イベントのお知らせ

北総研調査研究発表会（旭川）の開催について

東京セミナー・シンポジウム

『住まいの「長期優良・省CO2化」を考える。』の開催について

2012木製サッシフォーラムを開催について

2011年度自然災害シンポジウムの開催について

■研究紹介

■依頼試験・設備使用・性能評価のお知らせ

■最近の国内の動き

性能評価・表示協会成果報告会が開催されます。

■最近の研究所の動き

- 建築・住宅セミナーを開催しました
- 住居領域研修会を開催しました
- 振興局等での構造研修会がスタートしました
- 1月の業務報告
- 構造計算適合性判定センターから

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
イベントのお知らせ
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

■【北総研調査研究発表会（旭川）の開催について】

開催日：平成24年5月17日（木）
会 場：大雪クリスタルホール（旭川市神楽3条7丁目）

毎年、旭川市内で春に開催している前年度終了課題の調査研究発表会について開催日と会場が上記のとおり決まりましたのでお知らせします。
開催内容等、詳細については改めてご案内します。

（企画課 伊藤）

■【東京セミナー・シンポジウム
『住まいの「長期優良・省CO2化」を考える。』の開催について】

日 時：平成24年3月23日（金）10：30～16：30
会 場：すまい・るホール（東京・住宅金融支援機構本店）
主 催：北海道、道総研北方建築総合研究所
独立行政法人住宅金融支援機構北海道支店
社団法人北海道建築技術協会
北方型住宅ECO推進協議会
北海道R住宅事業者ネットワーク
共 催：国土交通省

国土交通省が公募した平成23年度補助事業「長期優良住宅先導事業」「住宅・建築物省CO2先導事業」に北海道や事業者等が共同提案したプロジェクト（北方型住宅ECO、北海道R住宅、北方型外断熱改修）が採択されるなど、道内ではこれからの北海道にふさわしい住まいづくりに取り組んでいます。
このシンポジウムでは、北海道の住まいづくりについて事例を交えながらご紹介するとともに、技術的課題や今後の施策展開などをテーマにセミナー・シンポジウムを開催します。

(企画課 伊藤)

■【2012木製サッシフォーラムを開催について】

日 時：平成24年2月10日(金) 13:00～16:30

場 所：大雪クリスタルホール国際会議場(旭川市神楽3条7丁目)

道総研森林研究本部林産試験場、北海道木製窓協会と共催で2012木製サッシフォーラムを開催します。

今回のテーマは「まど・空間・そとをつなぐ」です。

戸外と室内をつなぐ窓や空間の機能、そこへの木材利用などについて建築に携わる様々な立場の方からの提言とともに、参加された皆様と一緒に意見交換を行います。

参加申し込みについては締め切りを過ぎておりますが、まだ席に余裕がありますので、ホームページ上にアップロードしている次の案内を参考に申し込み願います。

<http://www.nrb.hro.or.jp/pdf/120210mokusei.pdf>

(企画課 伊藤)

■【2011年度自然災害シンポジウムの開催について】

日 時：2012年2月23日(木) 13:00～17:00

会 場：北海道大学学術交流会館大講堂

主 催：自然災害協議会北海道地区部会

共 催：北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター、
地方独立行政法人北海道立総合研究機構

対 象：防災担当者、専門家、一般

講 師：北海道大学平川一臣教授ほか5名

東日本大震災を契機に、巨大津波に対する関心が高まっています。

このため、防災担当者、専門家、一般の皆様を対象に津波痕跡調査や津波伝承に関する研究者の講演をとおして、北海道の古津波を巡る研究の現状を紹介いたします。

詳しくは下記のホームページを参照してください。

<http://www.sci.hokudai.ac.jp/isv/center/seminer/symposium/2011-2/2011-1.html>

(性能評価課 南)

=====
研究紹介
=====

環境科学部環境グループは、桂主幹以下5名で構成されています。今年度は、戦略研究「新たな住まいと森林資源循環による持続可能な地域の形成」の一部を担当しているほか、主担当として、重点研究1課題、経常研究2課題、一般共同研究8課題、公募型研究8課題、道受託研究1課題に取り組んでいます。このほか、他グループが主担当の課題にも参加しているため、かなりのハードワークとなっています。

環境グループでは、光環境やそれを制御する高性能・多機能窓、太陽熱利用システム、太陽光発電に関する研究、断熱やヒートポンプなどに関する研究など、住宅あるいは建築全体の環境向上・省エネルギー・環境負荷低減にかかわる研究を多く実施していますが、これらに加え、道産資源を用いた新たな製品開発や、防火性能、鶏舎や自動車の環境と省エネルギーなど、建築環境や建築設備以外の分野にも研究領域は拡大してきています。

これらの研究成果を踏まえ、より総合的な環境評価にかかわる研究や新たなエネルギーシステム、地域レベルのエネルギー管理・環境負荷低減などの研究へと、今後、発展していくものと考えられます。

(環境G 月館)

=====
依頼試験・設備使用・性能評価のお知らせ
=====

北総研で行っている、依頼試験・設備使用・性能評価の各業務について、ホームページに掲載しておりますが、改めてお知らせします。

○依頼試験

材料開発や技術開発の支援のため、建築関連企業などからの依頼により、建築物またはまちづくりに関する試験・調査、指導を行っています。

- ・強度または耐久に関する試験
- ・耐火または防火に関する試験
- ・熱、湿気または空気質に関する試験
- ・動風圧に関する試験
- ・音響に関する試験

- ・ 建築物またはまちづくりに関する試験
- ・ 建築物またはまちづくりに関する調査又は指導

* 詳細の可能試験、試験までの流れ、料金、申込用紙等については、下記からご覧下さい。

http://www.nrb.hro.or.jp/operate/irai_siken.html

○設備使用

材料開発や技術開発の支援のため、建築関連企業などの皆さまに各実験室、機械器具を利用いただくことができます。

- ・ 室内環境シミュレータ室
- ・ 外部環境シミュレータ室
- ・ 防音実験室
- ・ 風洞装置等

* 詳細の設備、設備利用までの流れ、料金、申込用紙等については、下記からご覧下さい。

http://www.nrb.hro.or.jp/operate/setubi_siyou.html

○性能評価

建築基準法に基づく指定資格検定機関等に関する省令第59条第1号、第2号、第8号の3に掲げる区分について業務を行っています。業務区域は日本全域です。

- ・ 第59条第1号 防耐火構造及び防火設備の耐火性能(壁、防火戸等)
- ・ 第2号 防火材料の不燃性能
- ・ 第8号の3 ホルムアルデヒド発散建築材料の性能
(JIS、JAS認定のない材料)

* 詳細の性能評価、評価までの流れ、料金等については、下記からご覧下さい。

<http://www.nrb.hro.or.jp/operate/seinouhyoukagyomu.html>

なお、依頼される内容や、機器の稼働状況により研究等との調整が必要となる場合がございますので、日程等につきましてはお問い合わせの上、ご相談くださるようお願いいたします。

連絡先：性能評価課 性能評価グループ

電話：0166-66-4240

=====
最近の国内の動き
=====

■性能評価・表示協会成果報告会が開催されます。

国土交通省補助事業として行われている「住宅の外装部の長寿命化及び維持保全技術の評価方法に関する研究」（実施機関：一般社団法人 住宅性能評価・表示協会）の取りまとめに向け、意見聴取のための成果報告会が3月23日（金）に東京都内で開催されます。

この報告会では、住宅外壁に関する設計・施工上の課題、長期使用における要求性能、窯業系サイディングの長期耐久性試験、維持保全・LCCなど、住宅外壁の長寿命化に向けた最新情報が盛り込まれる予定です。詳細は、3月号でお知らせします。

（構法材料G 吉野）

=====
最近の研究所の動き
=====

■【建築・住宅セミナーを開催しました】

2月2日（木）にKKRホテル札幌において、建築・住宅セミナーを開催しました。今回のセミナーは「よくわかる建物の屋根雪対策－屋根雪事故を防ぐために－」と題し、北海道の建物における雪による事故の現状や屋根雪事故を防ぐためのポイントなどを解りやすく解説しました。

今冬は、積雪量の多く消費者の関心が高いことなどもあり、たくさんの方々に来場していただきました。

雪による事故が無くなるよう、今後とも普及啓発に努めていきたいと思っております。

（企画課 神田）

■【住居領域学習研修会を開催しました】

1月10日（火）に道民活動センターかでの2・7（札幌市）において、第16回住居領域学習研修会を開催しました。道内の小学校から高校で家庭科を担当する先生26名がご参加くださいました。「住居領域学習の重要性」や「『住まいと健康』のスライド教材の紹介」ののち、伊達市立伊達小学校秋山先生より授業実践報告として、実際に参加者の先生方が課題に取り組む参加型の報告がありました。実施後のアンケートでは「住宅内での死亡者数がこんな

【編集後記】

今年度も残すところ2ヶ月を切りました。この時期、本号でご紹介した当所主催のセミナー等の開催を予定しております。企業や行政機関では、年度目標の達成に向け大変お忙しい時期と思いますが、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

また、当所の研究発表会の日程も決まりましたので、併せてご案内させていただきます。詳細は改めてご案内いたしますのでよろしくお願いいたします。

(企画課 古屋)

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。

登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

http://www.nrb.hro.or.jp/provide/sendmail_newsletter.html

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

<http://www.nrb.hro.or.jp/sendmail.html>

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。